

No.1923

7月20日例会 プログラム 「本年度委員会活動方針」 各委員会委員長

7月27日例会 プログラム 「本年度委員会活動方針」 各委員会委員長

7月20日のメニュー ・お刺身の盛り合わせ ・茄子・鶏ソボロのあんかけ ・しまアジの南蛮漬け ・ミニ鰻丼 ・おろしざるそば ・コーヒー

前回(7月13日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	24名	欠席者数	10名	出席率	70.59%	前回補正率	73.53%
	前回補正者	白石君								
	欠席者	藤原君 花岡君 東川君 井上君 三宅(孝)君 中山君 大久保君 谷口君 富永君 山田(次)君								

会長挨拶

本日は、国際ロータリーの国際奉仕で、最も広く知られていて、最も顕著な業績を挙げ、全世界から高い評価を得ているポリオ・プラスについてお話ししたいと思います。ポリオ・プラスは、国際ロータリーが一体となって取り組んでいる、“ポリオ撲滅活動”です。募金活動や予防接種などの関連活動はロータリー財団を通じて遂行されています。ポリオ、つまり「小児麻痺」ですが、ポリオウィルスが口から入って起こる感染症で、運動神経を壊して足や腕、胸、腹の筋肉を麻痺させます。ポリオは、人間以外の動物には感染せず、安価で投与し易い優れたワクチンがあるので、根絶可能な疾患なのです。

1974年にWHOはワクチンによって予防可能な6つの疾患(ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、結核)に対する免疫拡大計画(EPI)を採択しました。ポリオ撲滅へのロータリーへの関与は、1979年、フィリピンで6百万人の子供達にポリオワクチンを投与する5年にわたる活動を開始した事に始まります。さらに、1985年には、ポリオ・プラス・プログラムを開始しました。そして、1988年、世界健康総会がポリオ撲滅を世界に呼びかけ、それ以来、ロータリーとそのパートナー団体(世界保健機関WHO、国連児童基金ユニセフ、世界各国の政府等)の努力によって、世界中のポリオ患者の99%の撲滅を成し遂げました。1988年開始当時は、125カ国以上の流行国があり、毎日1,000人以上の子供の感染がありました。2003年には、全世界で784例の報告のみでした。現在はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国のみとなりました。ポリオプラスの効果は、世界の貧しい国々に、保険システムを定着させ、伝染病に対する認識をもたらせました。ポリオ・プラス寄付金は用途指定、ワクチン代のみで使用されます。子供一人当たりのワクチンの費用は、米貨で約60セントです。今年は、ロータリー財団委員長にお願いしまして、ポリオ・プラス募金箱を例会場に置かせて頂きますので、ポケットの小銭で結構ですので、入れて頂くようお願いいたします。

会長報告

- ・7月7日(土)に玉野JC創立50周年記念式典に出席して参りました。いささか、若いエネルギーに圧倒されそうになりましたが、我が玉野ロータリー創立40周年記念の参考になりました。

幹事報告

- ・国際ロータリー事務局よりロータリーワールドが届いております。
- ・(財)岡山日米文化協会より「第48回ライシャワートロフィー中学生英語スピーチコンテスト」の賛助依頼が届いておりますが、次回理事会にて審議させていただきます。
- ・地区大会の登録案内が届いております。開催日は10月27日(土)~28日(日)。場所は総社市近辺にて、それぞれ行なわれます。ご案内をボックスに入れてありますのでご覧下さい。また、登録のご案内は後日させていただきますので、多数のご参加をお願い致します。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧させていただきます。

第1回定例理事役員会議事録 7月6日

- ・2006-2007年度収支決算(案)について：東川前会計より報告 承認
- ・2007-2008年度収支予算(案)について：小野会計より報告 承認
- 50周年積立金の項目は周年積立金に変更。
- ・玉野まつり協賛の件：例年通り10万円を協賛 承認
- ・納涼例会について：親睦・家族委員会より
日時：8月10日例会を変更して8月11日(土)18:00~、場所：権太茶屋にて 承認

委員会報告

- ・親睦家族委員会(榎田副委員長): 8月11日納涼例会について、出欠の案内を次週にさせていただきます。テーマは「ハワイアンとフラダンスの夕べ、プラスパーベキュー」で開催致します。7月15日の家族会に出席の方は確認をお願いします。
- ・社会奉仕委員会(三宅保昭委員長): 8月4日(土)玉野まつりにおいてバザーを行ないます。響唾の会・手話の会支援の為、一人5,000円相当の品物を数多くご協賛下さい。又、本年もハッピーを寄贈致したいと思います。
- ・前親睦委員会(高橋前委員長): 先程、ご説明のありました7月15日の家族会ですが、台風の影響が出た場合は、皆様にご案内致しますので宜しくお願い致します。

スマイル・ボックス

- ・林君 - チベット側からヒマラヤ山脈を眺めてきました。 本年度、職業奉仕委員長です。宜しくお願い致します。
6月29日、7月6日欠席。
- ・中山君 - 長期欠席申し訳ありません。 誕生日。 ・岸本君 - 誕生日。美味しい肉を戴きました。 ・仲田君 - 誕生日。
- ・榎田君 - ロータリー情報委員長。1年間宜しくお願いします。 ・藤田君 - 本日SAAの運営方針をお話しさせていただきます。

プログラム 「本年度委員会活動方針」

1. 会場監督委員会(SAA): 藤田委員長

ロータリーは親睦に始まり奉仕の理想を鼓舞し育成する事。そして、奉仕しようとする人を育てる場、勉強の場でもあります。それには自ずと秩序があり、気品と風紀を守らなければなりません。例会場の雰囲気はそのクラブのレベルを端的に表します。リラックスする事も大切ですが、和気藹々と宴会モードとは違い、厳粛に例会を進める事が大切だと思います。クラブ会員が安心して落ち着いて心開き、穏やかな気持ちで一時間を過ごし、又、次回も是非出席しようと思うような例会場作りが大切と考えています。開会、閉会時間の厳守。ピジターの座席に配慮する。ゲストがスピーカーの際、時間配分、私語に対し勇気を持って注意する。スマイルボックス: クラブ奉仕活動の資金となるものであり、ロータリーの本質を具現していると言われておりますが、あくまでも個人の意思が尊重されなければなりません。喜んでスマイルを出して頂ける様、配慮します。会員数は私が入った時より20名位減っておりますので、それだけ奉仕も厳しくなっておりますが、一人一人が少しでも多く出して頂ければと思っております。今年度3冊~4冊(一人当り)を目標に奨励します。

2. クラブ奉仕委員会: 緋田委員長

玉野RC40周年の節目を大成功裡に終わらせ、本年度は現松尾会長の方針通り 会員増強(純増1名) プログラムの充実。会員の親睦(特に家族を大切に)の考えの基、各委員会との連絡を密にして、調整を図り、円滑に、かつ楽しい例会運営を図ってゆきたいと考えています。活発な奉仕活動は当然の事と思えます。繰り返しますが、各委員会同士の円滑な運営を図りたいと第一に思っています。

3. ロータリー情報委員会: 榎田委員長

ロータリークラブ会員候補者にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供し、入会してから1年間、新入会員のオリエンテーションを監督するものと手続き要覧に記載されております。具体的には、入会候補者にロータリークラブの情報提供。特に3年未満の会員に対して、地区大会等の公式行事への積極的参加を促す。ロータリークラブ会員の意義をあらためて確認し、ルール、約束事等を遵守する。週報の中にロータリー情報委員会のコーナーを作ってもらい、不定期になるかもしれませんが情報提供をして行きたいと思えます。

4. 職業分類・会員増強委員会: 近藤委員長

近年、当クラブにおいては、会員の出入りが激しく、減少傾向です。前期も4名が入会、7名が退会し、今年度は36名の会員数でスタートします。玉野ロータリークラブを顧みますと、創立は1968年(昭和43年)岡山南ロータリークラブをスポンサーとして、当時のチャーターメンバー23名でスタート、日本で863番目に誕生しております。今年で創立40周年を迎えます事は、既にご承知のとおりですが、喜ばしい事です。会員数が最も多かった時代は、1990年(平成2年)頃~2000年(平成12年)までで、56名が最高でした。今年度の目標としまして、40周年にちなんで会員数40名を皆様のご協力を戴き、達成できるよう努力致します。会員適任者のご推薦を切にお願い申し上げます。毎週の例会出席が時間的に厳しいのが理由か、景気の低迷等の経済的理由あるいは気分的に面白くないとか、採算的にメリットがない等、理由は様々でしょうが、ロータリーの原点を顧みますと、今から約100数年前、ポール・ハリスとその仲間たちが求めたロータリーの原点とは、当時のアメリカにおいて、殺伐とした世相の中で互いに信頼し、語り合える仲間にあった筈です。倫理的な勝ち組みがもてはやされる世の風潮の中で、会員同士利害を離れて、しかも年齢の世代を超えた親密な人間関係をつくれるロータリーの意義は、大変大きいものであったと思われまふ。そこで、当委員会といたしまして、広報委員会と共に、地域の方々にロータリーを認識して戴くよう努める。既存会員に誇りを持たせる事によって、地域社会でのクラブのイメージを高め、クラブを会員候補者にとって、より魅力的なものとする。会員の協力を得ながら、ロータリーの意義を理解するよう努め、積極的に会員増強を図って行く。クラブ運営並びに奉仕活動にも影響を及ぼす為、クラブ会員の充填・未充填の職業分類表を見直し、新時代に相応しい近代的な職業に注目し、新分類表を作成、新会員増強に寄与するよう努める。未充填の職業の補充を図り、尚且つ一人でも多くの会員の勧誘に努め、クラブの活性化を図る。地域社会に貢献している人物の情報収集をして、会員増強委員会に推薦する。クラブ会員全員にも、ご協力をお願いする。

会員増強及び退会防止は、クラブ活動の基本です。常にその重要性を認識し、推薦していくよう努めます。職業分類制度の基本原則に基き、前年度よりの申し送り(入会候補者リスト)を引き続き継承し実行する。退会防止、純増1名を目指す。

クラブ活性化の原動力となる新会員増強に、絶大なるご協力ご指導を宜しくお願い申し上げます。